

国際婦人年連絡会 2024年度 第2回セミナー



国連における国際保健交渉の現場から ～南北対立の克服と協力の模索～

日時

11月30日(土) 14:00～15:30
(13:40より開場)

会場

婦選会館（東京都渋谷区代々木 2-21-11）2階会議室
参加費 800円

講師： **喜多 洋輔** さん

外務省 国際協力局 国際保健戦略官



<プロフィール>

慶応義塾大学法学部法律学科中退後、三重大学医学部医学科卒業。在学中、東南アジア青年の船、日米学生会議、日本イラク医学生会議等に参加し、笹川保健財団国際保健協力フィールドワークフェローシップでWHO西太平洋地域事務所等にて研修。2007年厚生労働省入省し、HIV・エイズを担当。WHOジュネーブ出向を経て、予防接種法改正を担当し、留学（イェール大学・MPH、ハーバードケネディスクール・MPA）。その後、老健局老人保健課で要介護認定担当や山口県出向を経て、2019年国際課国際保健企画官。2020年6月から2024年8月まで国連日本政府代表部参事官として国連での国際保健交渉を担当。2024年5月第57回国連人口開発委員会（CPD）副議長。2024年8月より外務省国際保健戦略官就任。

【セミナー内容】 平和で安定した国際社会の実現に向けて、日本はグローバルヘルス戦略を通して外交力を発揮し貢献することが期待され、昨年5月の広島G7首脳会議では、グローバルサウスの首脳、WHOや世界銀行等を交えて、複合的な課題について対話が行われました。特に保健分野においては、① パンデミックを含む公衆衛生危機対応のためのグローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）の構築・強化、② より強靱、より公平、より持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成への貢献、③ 様々な健康課題に対応するためのヘルス・イノベーションの促進の3つの柱を軸にして議論が行われました。来年8月には1993年以来、日本政府が主導し国連やアフリカ開発委員会等と共催するTICAD（アフリカ開発会議）が開かれます。日本が国際社会に果たすべき役割としてUHCの推進など保健分野が重視されている中、政府の担当者として外交交渉の現場でグローバルにご活躍の喜多さんにお話を伺います。

お申し込み方法

Peatix から事前にお申込み
ください。

<https://iwylg-241130.peatix.com/view>
ご質問等はセミナー事務局にご連絡ください。

kokusaikaihatsu2iwylg@gmail.com

婦選会館へのアクセスはこちら。

<https://www.ichikawa-fusae.or.jp/access/>



11月27日(水) 締切

主催：国際婦人年連絡会

<https://iwylg-jp.com/> Eメール：iwylg-i@nifty.com